

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	西山病院未来型デイクア棟	階数	地上4F
建設地	浜松市西区西山町462-1他6筆	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、法第22条区域	平均居住人員	245 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年9月 予定	評価の実施日	2021年10月14日
敷地面積	4,011 m ²	作成者	関戸 敏訓
建築面積	1,739 m ²	確認日	
延床面積	4,973 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 85%
 ③上記+②以外の 85%
 ④上記+ 85%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.1

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。 構造は鉄骨造とし、県基準の耐震構造(基準法の1.5倍)としている。外部負荷の軽減のために屋根部を外断熱とするとともに、高効率設備機器を採用している。開口部が原則としてLowEペアガラスを採用している。		その他 -
Q1 室内環境 F★★★★建材を全面的に採用し、全館禁煙とするなど、空気質環境にも十分配慮している。	Q2 サービス性能 天井高を高くするなど心理性・快適性に配慮している。また壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。	Q3 室外環境(敷地内) ピロティの空間提供による地域貢献に配慮し、1階にテラスを設け建物内外の中間領域の形成に配慮している。また外灯を設置し防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー 断熱材を強化し、建物の熱負荷を抑制している。	LR2 資源・マテリアル フリーアクセスフロアを採用するなど、部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。	LR3 敷地外環境 ゴミ量の推計や有価物の回収を計画するなど廃棄物処理負抑制に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要

建物名称	西山病院未来型デイケア棟	BEE	1.3	BEEランク	B+	★★★
------	--------------	-----	-----	--------	----	-----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.1 / 5		ふつう
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	4.0 / 5		よい
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.6 / 5		ふつう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.7 / 5		がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	
		よい 4 点以上	ふつう 3 点以上
			がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		内訳対応項目	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)		得点	3.1
<p>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)</p> <p>④床:長尺シート20年、壁:ビニルクロス貼20年、天井:岩綿吸音板 ④高温系排気ダクト、厨房排気ダクトはステンレス製を採用 ④給水汚水雑排水管の主要用途3種についてB以上で、Eは不使用</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)</p> <p>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)</p> <p>⑦BPI=0.70</p> <p>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)</p> <p>⑪節水型便器、自動水栓、節水こまを採用 ⑫断熱材:床下、ボード:天井 ⑬内装が乾式工法で分別性に配慮、フリーアクセスフロア採用 ⑬ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を採用</p> <p>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)</p> <p>⑭消費エネルギー量削減により運用時のLCCO2排出量低減に配慮</p>	Q-1 2 2.1 2.2 ①	外皮性能	
	Q-1 3 3.1 3.1.3 ②	昼光利用設備	
	3.2 3.2.1 ③	昼光制御	
	Q-2 2 2.2 2.2.1 ④	躯体材料の耐用年数	
	2.2.2 ④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
2.2.3 ④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		
2.2.4 ④	空調換気ダクトの更新必要間隔		
2.2.5 ④	空調・給排水配管の更新必要間隔		
2.2.6 ④	主要設備機器の更新必要間隔		
Q-3 1 ⑤	生物環境の保全と創出		
3 3.2 ⑥	敷地内温熱環境の向上		
LR-1 1 ⑦	建物外皮の熱負荷抑制		
2 ⑧	自然エネルギー利用		
3 ⑨	設備システムの高効率化		
4 4.1 ⑩	モニタリング		
4.2 ⑩	運用管理体制		
LR-2 1 ⑪	節水		
1.2 1.2.1 ⑪	雨水利用システム導入の有無		
1.2.2 ⑪	雑排水等利用システム導入の有無		
2 2.1 ⑫	材料使用量の削減		
2.2 ⑫	既存建築躯体等の継続使用		
2.3 ⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用		
2.4 ⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		
2.5 ⑫	持続可能な森林から産出された木材		
2.6 ⑫	部材の再利用可能性向上への取組み		
3 3.1 ⑬	有害物質を含まない材料の使用		
3.2 3.2.1 ⑬	消火剤		
3.2.2 ⑬	断熱材		
3.2.3 ⑬	冷媒		
LR-3 1 ⑭	地球温暖化への配慮		
2 2.2 ⑮	温熱環境悪化の改善		
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)		得点	4.0
<p>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)</p> <p>⑯1.5倍の耐震性能 ⑰グリーン購入法対応などの節水型衛生器具、排水系統区分の細分化など ⑰耐震クラスA対応</p>	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯	耐震性	
	2.1.2 ⑯	免震・制振性能	
	2.4.1 ⑰	空調・換気設備	
	2.4.2 ⑰	給排水・衛生設備	
	2.4.3 ⑰	電気設備	
	2.4.4 ⑰	機械・配管支持方法	
	2.4.5 ⑰	通信・情報設備	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)		得点	3.6
<p>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)</p> <p>⑳共用)0.1≦[壁長さ比率]<0.3、(病室)0.1≦[壁長さ比率]<0.3</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)</p> <p>㉑ピロティの空間提供による地域貢献に配慮、外灯の設置による防犯性の配慮など</p>	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱	ユニバーサルデザイン計画	
	3 3.1 3.1.1 ⑲	階高のゆとり	
	3.1.2 ⑲	空間の形状・自由さ	
Q-3 3 3.1 ㉑	地域性への配慮、快適性の向上		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)		得点	2.7
<p>■室外環境(敷地内)対策 (②生物環境の保全と創出/③まちなみ・景観への配慮/④敷地内温熱環境の向上)</p> <p>■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善)</p>	Q-3 1 ②	生物環境の保全と創出	
	2 ③	まちなみ・景観への配慮	
	3 3.2 ④	敷地内温熱環境の向上	
LR-2 2 2.5 ⑫	持続可能な森林から産出された木材		
LR-3 2 2.2 ⑮	温熱環境悪化の改善		